

## 「2024 年度 ソーシャルワーク力を鍛え、磨き上げる実践研修」 開催要項

### 【趣旨、目的】

平成の時代において福祉分野ごとに縦割りで専門化、高度化してきた福祉活動を、令和の時代においては、横につながり、重層的に重ねることで、地域に存在する生活課題や福祉ニーズに応えていくための相談支援を総合的に展開できる体制を整え、地域づくりに取り組み、支援の輪を広げていくことが地域共生社会の実現に向けた喫緊の課題とされています。

この対応には、包括的な支援体制・地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、権利擁護、地域公益の取り組み等を束ねていく実践が求められ、ソーシャルワーク機能・相談支援を担う職員育成は社会福祉を担う組織において必須条件となりました。

いま、地域社会には「入口から出口につながらない」、「解決しない課題に関わり続けていかなければならない」状況が多く存在しています。そうした情勢を踏まえ、社会福祉の基盤組織である社会福祉法人・福祉施設、社会福祉協議会、行政が担うべきソーシャルワークの役割・機能を向上させるために「ソーシャルワーク力を鍛え、磨き上げる実践研修」として、本研修を開催いたします。

なお、本講座は継続受講を想定した研修として企画しています。

【日程・会場】 日程 2025(令和7)年2月22日(土)～2月24日(月・祝)  
会場 中央福祉学院(ロフォス湘南)

### 【対象】 ①『鍛えるコース』

- 重層的支援体制整備事業や包括的支援体制などに携わる社会福祉法人、社会福祉協議会、行政等のソーシャルワーカー 等  
主に、以下のような方々を想定しています。
  - ・ 重層的支援体制整備事業、生活困窮者自立支援事業、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、日常生活自立支援事業、こども家庭センター、要保護児童対策地域協議会、基幹型相談支援事業所、自立支援協議会の相談員
  - ・ 中央福祉学院主催の研修修了者(社会福祉士短期養成課程、ふくし未来塾、ファミリーソーシャルワーク研修会 等)

### ②『磨くコース』

- 福祉サービス等の支援従事者への指導、スーパービジョンを行う方  
主に、以下のような方々を想定しています。
  - ・ 福祉サービス等の支援従事者への指導、スーパービジョンを行う方(社会福祉士、相談支援員、MSW、保健師、看護師、心理士、サービス提供責任者、サービス管理責任者 等)**【対象として想定している福祉サービス等】**  
地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、障害福祉サービス事業所、重層的支援体制整備事業、生活困窮者自立支援制度、病院、行政等
  - ・ 中央福祉学院主催の研修修了者(社会福祉主事認定資格課程、社会福祉施設長資格認定講習課程 等)

【定員】 ①『鍛えるコース』 80名 / ②『磨くコース』 60名

【受講料】 ①『鍛えるコース』 39,600円 / ②『磨くコース』 33,000円

【コース(プログラム)の内容】

①『鍛えるコース』・②『磨くコース』の2コース・プログラムの中から1コースを選択しご参加ください。複数年度で計画的に両コースを受講され、かつ、各コースは継続受講(反復して受講され、ソーシャルワークを展開する力を鍛え磨く研修)機会として自治体、社会福祉法人、社会福祉協議会、各相談支援事業所のソーシャルワーカーに活用いただけるよう企画しています。

① 鍛えるコース(講師 中央福祉学院主任教授 山下興一郎)

**到達目標**

- ・ 地域共生社会を実現する包括的支援体制について理解し、展開できる
- ・ 制度を超えたソーシャルワーク実践と、多分野と連携・協働したソーシャルデザインを併せて展開できる
- ・ 既成概念を疑い、頭を切り替える

第1日:2/22(土)

時間	内容
9:00	受付開始
9:45	開講・事務局オリエンテーション
10:00～ 12:00	【ゴール(目標、目的):基調講義(演習含む)】 -1- 「これからのソーシャルワーク実践体制(包括的な支援体制の整備) ～ 重層的支援体制の構築、地域包括ケア・地域共生社会の実現に向けて自らの地域、自治体、社会福祉法人、サービス事業者、社会福祉協議会の役割の見える化を中心に
	昼食休憩
13:00～ 14:30	【導入:クライアント、家族、近隣、集団、地域社会の理解(演習)】 -2- 「目の前の人・家族・集団と環境、地域生活課題 ～ クライアントが生きている世界で理解できるようになることを中心に
15:30～ 17:45	【展開1:対人援助、地域づくりの知識・技術・態度を鍛える方法の理解(演習)】 -3- 包括的な支援体制のつくり方 ～ 分野横断的な相談機関の連携、地域共生社会の実現、重層的支援体制整備事業、生活支援体制整備事業、様々な会議等における立ち位置、役割を再確認、再構成の必要性の有無・是非を理解することを中心に
18:00～ 19:30	夕食交流会(コース①・② 合同)

19:45 ～ 21:30	【実践交流:「実践力強化ライブ前夜」グループで鍛え上げていく環境づくり】 -4- 参加同士の実践交流と提出事例づくり ～ 実践力強化ライブに向けたグループ編成、事例づくりなど
---------------------	---

第2日:2/23(日)

時間	内容
8:30	受付開始
9:00 ～ 12:00	【展開2】 -5- 実践力強化ライブ □ グループスーパービジョン (1) ～ 事例検討会の進め方、司会役、提出役、参加者としての心得、アセスメント、プランニング、モニタリング、アフターケア、連携、事例検討会からグループスーパービジョンへ
12:00	昼食休憩
13:00～ 19:00	【展開2】 -5- 実践力強化ライブ □ グループスーパービジョン (1) 続き
19:00	夕食休憩
19:00～ 21:00	【展開2】 -5- 実践力強化ライブ □ グループスーパービジョン (1) 続き

第3日:2/24(月・祝)

時間	内容
8:30	受付開始
9:00～ 12:00	【展開2 続き】(第2日より継続) -6- 実践力強化ライブ □ グループスーパービジョン (2)
	昼食休憩
13:00～ 14:30	【展開2 続き】(第2日より継続) -6- 実践力強化ライブ □ グループスーパービジョン (2) 続き
14:30～ 15:00	【まとめ≡ゴール】 -7- 学んだこととこれからの課題 ～ ゴールはまだ先にあることを理解する。現在の自ら所属する組織の立ち位置、自らの立ち位置や知識・技術・態度を再認識し、達成していることの評価、さらに鍛えていく課題を明らかにする
15:10	閉講

## ②『磨くコース』(講師 中央福祉学院 准教授 岡田多恵子)

### 到達目標

- ・ 相談者個人の支援を中心とした分野横断的な支援体制及び地域づくりを行うソーシャルワーカーを育成するスーパービジョンが展開できる
- ・ 包括的な相談支援体制を構築するメンバーの組織とその機能や役割の整理・調整ができる。
- ・ その実践力やマネジメント力を培うために研鑽を続けていくことができる

### 第1日:2/22(土)

時間	内容
9:00	受付開始
9:45	開講・事務局オリエンテーション
10:00 ～ 12:00	講義「スーパービジョンの定義と概要(基本知識)」 ・ スーパービジョンの全体像とその構造 ・ スーパーバイザーとスーパーバイゼーの役割や責任などスーパービジョンを取り巻く状況と課題
12:00	昼食休憩
13:00 ～ 14:30	演習①「対人援助職のさまざまな状況理解」 ・ 統合的・多面的アセスメントを体験し「人と行動」のしくみや、問題解決に向けた技法 【キーワード:問題解決ロジックツリー・マイクロカウンセリング技法・ライフストーリーグリッド・発達理論】
14:30 ～ 17:45	演習②「ケーススタディ」 ・ 模擬事例をもとにグループスーパービジョンのマネジメント(ファシリテーション)や、アセスメントからの推論方法と確認 ・ 情緒的な土壌の整え方や、情報収集からアセスメントの下絵までを組み立てる統合的理解 【キーワード:事例研究法・複線経路・現象的紐解き・総合的理解】
18:00 ～ 19:30	夕食交流会(コース①・②合同)
19:35 ～ 20:30	練習「チームビルドとチームアプローチ」 提出事例の選定をとおしてチームビルディング 【キーワード:スタートアップ・チームアプローチ・チームの構築・組織づくり・チームビルディング】

第2日:2/23(日)

時間	内容
8:30	受付開始
9:00～ 9:10	ピア・スーパービジョン (ピア・スーパービジョンの要素を取り入れた準備作業)
9:10～ 9:40	解説「グループスーパービジョンの進め方」
9:40 ～ 12:00	セッション①「グループスーパービジョンの実際(グループ SV の実践的理解Ⅰ)」 ・ 実践事例の検討をもとに、どのようにマネジメント(ファシリテーション)を行うか  【キーワード:記述や説明による可視化・言語化・支援の価値・スキル・価値観・困難な課題・課題の明確化・グループ SV・ユニット SV】
12:00	昼食 (60 分)
13:00～ 15:20	セッション②「グループスーパービジョンの実際(グループ SV の実践的理解Ⅱ)」 ・ 実践事例の検討をもとに、どのようにグループの力(グループダイナミクス)を引き出すか  【キーワード:グループ維持機能・ピア関係の結束力と内発的動機・グループ SV と実践力への往還・グループダイナミクス】
15:20 ～ 17:55	セッション③「グループスーパービジョンの実際(グループ SV の実践的理解Ⅲ)」 ・ 実践事例の検討をもとに、どのように解釈してその気づきを戦略的に組み立ててスーパーバイザーへ送り届けるか ・ 包括的な相談支援体制を構築するために、組織とそれぞれの機能や役割の整理・調整とコミット  【キーワード:マネジメント実践の熟成化・事実化・意味づけ・現象的解釈・判断・支援展開・リファーマー】
17:55～ 18:00	まとめ

第3日目:2/24(月)

時間	内容
8:30	受付開始
9:00～ 9:10	ピア・スーパービジョン (ピア・スーパービジョンの要素を取り入れた準備作業)
9:10～ 9:40	解説「個別スーパービジョンの進め方」
9:40～ 10:10	モデルセッション(シナリオ・ロールプレイ)
10:20～ 12:00	セッション④「個別スーパービジョンの実際(個別 SV の実践的理解)」

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループスーパービジョンの視点や方法の援用</li> <li>・1対1で行う個別スーパービジョンの体験と展開</li> </ul> <p>【キーワード:個別スーパービジョン・ペアワーク】</p>
12:00	昼食休憩
13:00～ 14:00	<p>セッション⑤「スーパービジョンの評価手続き」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフスーパービジョンの手法を用いた自身のスーパービジョンの振り返り</li> <li>・スーパーバイザーからスーパーバイザーへのフィードバックと到達度の確認</li> </ul> <p>【キーワード:スーパービジョンの評価・気づきの受渡・セルフスーパービジョン・グループワーク】</p>
14:00～ 14:45	<p>セッション⑥「ブラッシュアップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的援助関係形成の先にある「人を支援・援助する専門家」を支援する社会福祉の専門家をめざすために</li> <li>・今後の自分自身のスーパービジョンの実践方法と継続的に実践力を向上させるために</li> <li>・アドバンスト実践のために</li> </ul> <p>【キーワード:磨く・洗練する・蓄積する】</p>
14:45～ 15:00	まとめ
15:10	閉講

## 【申込方法】

お申し込みはWEBフォームからのオンライン申込のみにて承ります。

以下の手順に従ってお申込みください



- ① 右の2次元コードまたは下のリンクからメールアドレスをご登録ください

<https://forms.gle/fftcpUHykJFwKe1K7>

- ② 登録したアドレスに届くメールに記載された申込フォームより、必要事項を記入しお申し込みください。  
③ 申し込みが完了すると、自動返信で受領確認のメールが届きます。

申し込み完了後、2週間程度をめぐり、受講決定通知、受講料のお支払いについてのご案内を郵送にてお送りいたします。

## 【事前課題】

お申込みいただいたアドレス宛に、Eメールにて事前課題の取り組み方法をご案内します。これまでの実践、現在の取り組みにおける課題を記載いただく内容となります。

## 【問い合わせ先】

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 (担当:藤井・山口 副部長:玉置)  
〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44  
TEL 046-858-1355 FAX046-858-1356 メール: z-gakuin@shakyo.or.jp